

小松市文化財保存活用地域計画

Komatsu City Cultural Property Preservation and Revitalization Plan

かわら版

第4号
令和6年3月

小松市では、市内の文化財の保存・活用推進を目的に「小松市文化財保存活用地域計画」の作成を進めています。かわら版では、検討の途中過程を市民の皆様にお知らせしていきます。

小松市の歴史文化の特徴を活かし、文化財の保存・活用を進めていきます

文化財は、先祖より継承されてきた小松市の歴史文化を語る大切な遺産です。指定や登録されていないものも含めて、市内の全ての文化財を対象として、所有者だけでなく、住民や団体、多様な分野の方々との連携・協働により、地域総がかりで文化財を活かし守っていきます。

歴史文化の特徴 1 地下資源を見出したものづくり

日本列島誕生の火山活動による地下資源を、交流で獲得した技術と道具で加工し、「珠玉」の製品を作り出してきました。製陶や製鉄、織物などの里山資源も水上交通網で活かし、ものづくり文化を育みました。



八日市地方遺跡出土品



釉裏金彩

歴史文化の特徴 2 交流拠点を行き交う人と物資

南加賀は、かつて加賀三湖と河川の舟運が発達していました。梯川河口の安宅は、日本海に開けた湊として、人やモノ、文化の交流により発展しました。安宅は、古代北陸道など陸上交通とも結節する要衝でもありました。



安宅まつり



旧加賀三湖・河川の水運

歴史文化の特徴 3 加賀国府をめぐる交流の物語

平安時代から鎌倉時代、加賀国の国府が所在し、政治・経済・文化の中心として栄えました。都との交流が様々な歴史物語を生み、能「安宅」、「実盛」、「仏原」へと受け継がれ、小松市の芸能文化を彩ります。



河田山12号墳



陶製水壺

歴史文化の特徴 4 信仰の道と交流 ～白山信仰と一向一揆～

白山は古くから信仰の対象でした。中宮八院が成立し、三坂越は登拝ルートとなりました。戦国時代には、浄土真宗が拡大し、一向一揆が激化します。真宗信仰は深く根付き、伝統行事や文化財が伝わります。



那谷寺奇岩遊泉境



銅製三具足

歴史文化の特徴 5 前田利常が拓いたものづくりと交流

前田利常が隠居地とし、小松城と城下町の整備を行いました。ものづくり産業が成長し、神社仏閣は整備され、茶の湯や能などの文化が広まります。利常没後、商人や職人により華やかな町人文化が築かれました。



小松天満宮本殿



小松城本丸櫓台石垣

歴史文化の特徴 6 加賀三湖と里山が育んだくらしとものづくりと交流

山村は林業や炭焼きで栄え、石切り場や鉱山はものづくりを支えます。温泉地は古くから栄え、建物や庭園に趣向を凝らしました。平野部は豊かな穀倉地帯を形成し、五穀豊穡を願う祭礼が残ります。



悪魔祓い



粟津演舞場

地域の方々へのヒアリングを行いました

令和5年度は南部地区、板津地区で、地域で大切にされている有形・無形の文化財、未来へ継承していくための保存・活用についてご意見をお聞きました。また、学校教育との連携を目的に、市内小中学校の社会科研究会で意見交換会を実施し、36人の先生方に参加いただきました。児童・生徒の小松市の歴史文化への学びや市の関わりをテーマとし、「デジタル化・動画にすれば教材として活用できる」、「まずは先生方で小松市の歴史文化を巡るバスツアーをやりたい」といった意見も出て、今後の取組につながる機会となりました。



小中学校の教員との意見交換の様子

ワークショップ「地域の歴史文化を探る！」を開催しました

市内の文化財に関心の高い方々、活動を行っている方々にお集まりいただきました。市内各地で活動している方々の交流の場として情報・意見交換が行われるとともに、様々な意見・アイデアが出ました。

テーマ① こまつだからできること 12/23 土

令和2年に文化財保存活用地域計画を作成し、取組を進めている小浜市産業部文化観光課長の下中隆浩さんを講師としてお迎えしました。小浜市の取組も参考にしながら、小松市の取組について30人の参加者で意見交換しました。「ものづくり、食文化など、たくさんある小松市の『たから』を、上手に見せて、つなげ、周遊できるようにしたら良い」などの意見がでました。



テーマ② 若い世代をどう巻き込むか 2/17 土

公立小松大学の朝倉由希准教授を講師とし、また、ゼミの大学生7人が参加し、市民の参加者30人と一緒に意見交換を行いました。「普段インスタを見ていても文化財がでてくることはない」という学生からの声もあり、いろいろな切り口で文化財を伝える発信することが重要という意見などが出ました。大学・学生も協力して、地域との協働により文化財の魅力づくりを進めていきます。



地域計画策定協議会を開催しました

小松市文化財保存活用地域計画策定協議会は、文化財の専門家、観光・まちづくりの学識経験者、地元団体、所有者、石川県からなります。計画作成に向けて、令和5年度は2回、開催されました。

小松市の歴史文化の特徴や保存・活用を進めていくためのストーリーづくり、具体的な事業などについて協議を行いました。「地元の人に共感してもらえる、市民のものになる計画づくりをしていきたい」と各委員の専門性を活かした意見交換が行われました。

